

## 平成30年度（新栄高等学校）不祥事ゼロプログラムの検証等

### ○ 項目・目標別実施結果

項目	目標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上	公務外非行防止を注意喚起し、公務員倫理意識の徹底を図る。	啓発資料や新聞記事等の事例紹介や掲示による注意喚起を行い、公務外非行行為を防止することができた。
わいせつ・セクハラ行為の防止	わいせつ・セクハラ行為絶対防止を目指し資質の向上を図る。	事故防止研修等の機会に、事例演習等で啓発を図ったため、職員による生徒へのわいせつ・セクハラ的事案はなかった。
体罰、不適切な指導の防止	生徒への影響を常に意識できるよう資質の向上を図る。	事故防止研修等の機会に、事例演習等で啓発を図ったため、職員による生徒への体罰・不適切指導の事案はなかった。
成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	マニュアルに沿った適正な作成及び点検を徹底する。	成績処理支援システムによる適正な成績処理や調査書発行について、入力及び点検手順について十分に確認し、事故無く成績処理事務を行うことができた。
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	チェックリストによる確認を繰り返し行い、知識理解を深める。	定期テストの答案誤廃棄の防止や教務手帳の保管を徹底できた。 個人情報の持ち出しに関し、事前連絡・許可を徹底し、必要最小限にすることができた。
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止	プライベートを含めた交通法令遵守への意識を高める。	事故防止研修等の機会に、事例演習等で啓発を図り、職員による交通法令違反を防止することができた。
業務執行体制の確保等	県民の信頼に応え全体の奉仕者として自覚を持つ。	常時、サービス及び担当業務の進行管理を行っているため、年間を通じ大きなサービス違反・業務の遅滞は起きなかった。
会計事務等の適正執行	私費会計基準に則り基づき、会計の適正執行を徹底する。	「新栄高校 予算・会計ハンドブック」を作成し、研修を行った。また、複数の点検体制をとっているため会計上の事故はなかった。

### ○ 平成30年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と平成31年度に取り組むべき課題 (学校長意見)

- ・ 事故防止会議や研修会を通じて不祥事防止の徹底を図ることができた。
- ・ 不祥事防止啓発資料や新聞報道等を効果的に活用することができた。
- ・ 成績処理や進学用成績資料の作成について、マニュアルに沿って全職員が協力することで事故防止が図れた。
- ・ 人権教育校内研修により人権意識を磨くことで不祥事防止につながられた。

#### 課題

- ・ 外部講師による研修会を企画立案し、職員の知識理解をさらに深めること。
- ・ 「サービス」に関して更なる徹底を図り、職員の資質向上に資すること。